

子どもたちが健やかに育つために名古屋の保育・子育てを豊かにすることを求める請願書

名古屋市議会議長 殿

2018 年 月 日

紹介議員

請願代表者

倉垣 三奈

住所

名古屋市北区上飯田南町 5-52-2

<請願趣旨>

現在、保育士不足により保護者から「子どもを預ける際に不安を感じる」という声があがっています。子どもの命と安全、発達を保障するためには、保育士不足を解消させる対応が必須です。保育士確保の為に保育士の処遇改善を名古屋市の施策で改善してください。

名古屋市の待機児童数はゼロとしていますが、「兄弟バラバラの入所になってしまい登園が困難」「決定通知書で決まった保育施設が我が子を預けようとは思えない環境だった」などの理由から、入所に至らない子どもが833人（2018年4月現在）もいます。保護者が求めているのは安心して預けられる0歳から5歳児までの認可保育所です。公立保育所を減らすことなく認可保育所の増設をすすめていただきたいです。認可保育所の増設、公立保育園民営化の凍結・見直しを求めます。

休日保育事業については「休日保育があり助かる」という声がある一方、「休日保育を申し込もうとしたら、すでに定員いっぱいキャンセル待ちになってしまう」という声が出されています。病院、福祉現場や飲食店、美容院などのサービス業で働く子育て世帯は多く、子育て中の世帯にとって休日保育事業は欠かせないといえます。しかし、実施園は限られておりニーズにこたえきれていない状況です。現在実施している園での受け入れ定員を増やすだけでなく、実施園を増やして下さい。

病児病後児保育事業については「安心して預け、仕事を続けることができ助かっている」という声がある一方、「利用料金が高く利用しづらいので負担を軽減してほしい」「病気の子どもを遠くまで連れて行くのは大変。近くに開設してほしい」という切実な声があり、市内で実施されていない区および支所管内の地域での開設を求める声が強まっています。

一時保育事業については非定型保育・緊急一時保育・リフレッシュ保育のどれもが高い要望です。「妊娠し、安静が必要な時に申し込んだが、定員が埋まっていたので利用できず困った」「メンタルの病気になり子育てが辛い時に、一時保育に預けられると良かったができなかった」という声など、急に子育てが困難になった時に、利用しにくいのが現状です。また、公立保育園のリフレッシュ、一時預かり保育事業について「子育てがしんどい時に安心して預けることができ、肩の荷がおりた気がした」という声とともに「利用したくても定員が埋まっていたので利用できない」という声が多数あがっているのが実態です。一時保育を必要な時に利用できるように拡充すること、「公立保育所リフレッシュ預かり保育事業」を一か園ずつの受入日を増やすなど拡充し、利用しやすくすること等、子育て世帯の実態に見合った対応が求められています。

名古屋市が以下の施策を公的責任において速やかに実施されることを求め要望します。

<請願項目>

- 1 市の責任のもと、保育士の処遇改善と保育士確保をして、子どもを安心して預けられる環境を整えてください。
- 2 公立保育園民間移管計画を凍結し、見直しをしてください。
- 3 休日保育事業の要求に見合った実施保育園の箇所数を増やしてください。
- 4 病児病後児デイケア事業の利用料を下げて、さらに第2子以降は減免してください。
- 5 病児病後児デイケア事業の未実施の区および支所管内の地域に病児病後児保育室を開設してください。
- 6 一時保育事業を公立保育園のエリア保育所で実施してください。
- 7 名古屋市の制度としてリフレッシュ保育は月3回の利用が可能であるにもかかわらず、ほとんどの場合月3回利用できていません。「公立保育所リフレッシュ預かり保育事業」の予算を確保した上で、保育体制を充実させ、受入日をせめて6日に増やし、利用しやすいように拡充してください。

氏名	住所

